

化学と教育

第58巻 第12号 2010年 目次

- ◆ 化学教育 徒然草
じっくりと卒業研究に取り組める環境を 松下 信之…………… 555
- ◆ ヘッドライン：フィルムは今
サランラップ®の製膜とフィルム特性 中尾 卓…………… 558
建築分野で活躍するフィルム 五十嵐麻ヤ…………… 562
エレクトロニクス分野で活躍するフィルム 浅見 正弘…………… 566
外科手術用創傷被覆材（ナノシート） 木下 学, 藤枝 俊宣…………… 570
- ◆ レーダー
ホウ素化学の最先端：隣の炭素との違い 山下 誠…………… 574
有機-無機ハイブリッド材料 内田さやか…………… 576
- ◆ 実験の広場
ビギナーのための実験マニュアル
身近なものを使った電池づくり 宮本 一弘…………… 578

実験教室レポートします！
北陸電力エネルギー科学館の活動の紹介 木村 肇…………… 580
- ◆ 講座：高校で習わなかったところ分かる（物理化学版）
ナノ物質の化学 —ナノスケールの世界は何が違うか— 菅井 俊樹…………… 582
化学反応を制御する技 —触媒のはたらき— 中村 潤児…………… 586
- ◆ シリーズ：教科書から一歩進んだ身近な製品の化学
メーク落としの化学 前田 憲寿…………… 590
- ◆ 新実験・新教材
電子レンジを使った液晶の簡易合成とモデルデバイスの作製
石見 勝洋, 後藤 朋子, 浅田 泰男…………… 592

ヘッドライン企画趣旨

フィルムは私達が直接手に触れる、触れないにかかわらず、日常生活の様々な場面で活躍している。その利用されている範囲は広範囲にわたるが、その中から薄く透明である性質が高機能化されているフィルムとして、身近なラップフィルム、光を制御するフィルム、医療現場で活躍が期待されるフィルムについてその製造方法や、高機能化されている点について解説する。

△ 協議会から

諸外国では大学への入学を許可するためにどのような制度を設けているか

- (3) フランスの高等教育制度とバカロレア試験 —理系高等教育機関への進学を中心として—
三好 美織 594
- (4) 台湾における近年の大学入試改革の理念と展開 藤岡 達也, 林 明煌 598

△ 協議会だより

- 化学だいすきクラブ夏のイベント 2010 のご紹介 内山 一美 602
- 全国高校化学グランプリ 2010 開催報告 中村 洋介 604

△ 日本化学会から

- 本部事務局・化学情報センター休館のお知らせ 609

- 行事一覧 605
- 書評 605
- 総索引 606

次号予告 59 巻 1 号

ヘッドライン : 東海支部企画—化学非平衡ならではの動きもの

- ヘッドライン ミクロ液滴を直流電圧で動かす: 往復・回転運動 瀧ノ上正浩, 吉川 研一
化学反応と物質拡散が生み出すアメンボのような運動 末松 J. 信彦, 中田 聡
過酸化水素水中で動き回る白金粒子 田中 和哉, 伴 貴彦, 塩井 章久
界面活性剤の力を借りたデバイス作り 松下 祥子